

design

No. 79

こ ん な 本



読 ん で み て

October - November 2019

design

デザインを楽しむ。

目次

design	1
MIETAN 本つなぎ 第7回	6
Book design の世界 vol.9	10
ちょこちょこ日記 #19	12



『なるほどデザイン 目で見えて楽しむデザインの本。』

筒井美希 著

エムディエヌコーポレーション 2015年

021.4||Ts 93||A

雑誌やポスターなど、日々目にするデザイン。わかりやすい・惹かれるデザインにはポイントがあります。豊富なビジュアルを通してデザイナーの仕事ののぞいているかのような感覚を味わえます。デザインの楽しさと出会える一冊です。

design

色が作るイメージ。



『配色アイデア手帖 めくって見つける新しいデザインの本』

桜井輝子 著
SBクリエイティブ 2017年
757.3||Sa 47

ページをパラパラめくると様々な色の組み合わせが目飛び込んできます。「トロピカルフルーツ」「お菓子の家」「午後のハーブティ」など、それぞれの配色にテーマの名前がついていて、イメージにぴったりの色が見つかります。意外な色の組み合わせの発見が楽しい一冊です。

design

文字というデザイン。



『フォント部へようこそ 文字を楽しむおとなの部活』

フォント部 編
自由国民社 2019年
727.8||F 38

本、商品パッケージ、看板...何気なく接しているフォント、味わってみるともっと楽しい。フォントに込められた細やかな工夫を知ると、もう目が離せなくなるはずです。



『のらもじ まちに出よう もじを探そう』

下浜臨太郎, 西村斉輝, 若岡伸也 共著
エムディエヌコーポレーション 2017年
727.8||Sh 51

まちのあちこちにある看板の魅力を伝える一冊です。年月が作り出した看板の味わいがたまりません。お店の方に聞く看板の歴史にぐっときます。

design

デザインを身近に。



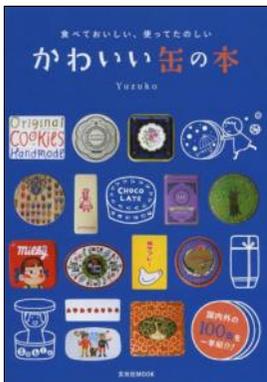
『お菓子の包み紙』

甲斐みのり 著

グラフィック社 2017年

588.3|Ka 21

きれいな包み紙や箱にお菓子が入っていると、食べる前の気持ちが盛り上がります。あたたかく、懐かしく、美しい、甲斐みのりさんの20年分のコレクションがたっぷりつまった一冊。素敵な包み紙と一緒に、いただきます。



『食べておいしい、使ってたのしい かわいい缶の本』

Yuzuko 著

玄光社 2013年

675.18|Y 99

つつい集めたくなる魅力的な缶がたくさんの一冊です。「おいしい」の後のお楽しみ。手元に置いておきたいデザインがきっとこの本の中にあります。

design

余白のちから。



『シンプルな正体

ディック・ブルーナのデザイン』

ブルーシーブ 2017年

726.5|B 78

ディック・ブルーナさんが手掛けられた ペーパーバック「ブラック・ベア」シリーズのブックデザインやポスター、ミッフィー(うさこちゃん)の絵本などから、たくさんのデザインが紹介されています。線、色、余白。シンプルの中に込められた豊かさをじっくり味わってみてください。



第7回

三重短生の

おすすめ本をリレーして

三重短を

本でつなげたい！

MIETAN
本つなぎ



みたらしさん

法律コース

2年

ゆか子さん

法律コース

2年

ー今日はよろしくお願いします。早速、ゆか子さんからおすすめの本の紹介をお願いします。

ゆか子 私のおすすめの本は『ファンタズマゴリア』(岡崎祥久著／講談社)です。私が読む本のジャンルはファンタジー系の小説が多いんですが、これもそんな感じです。あと1週間で15歳になる少年マルテくんが主人公で、この少年は人間じゃなくて、ミラーワールドっていう重なった時間軸の違うところに住んでいる生物みたいな感じです。人間は川のように一方通行に流れていると認識しているんですけど、このミラーワールドの住人たちの時間軸の考え方がおもしろいんです。時間っていうのは海みたいなもので、一方通行ではない不可逆的というか、現在があるから過去があるみたいな考え方です。この本で時間の概念が変わったなと思います。マルテくんが人間の少女と出会うんですが、ミラーワールドと人間の世界とは時間の速さが違うので、すごく不思議な感じで書かれていておもしろいですよ。今自分が生きている時間軸とか、もしかしたら今過ごしている友達は未来へ行って過去に帰ってきた自分の魂と一緒にいる人かもしれないなと想像したり、おもしろい考え方や新しい見方ができるような本なのでぜひ見てほしいなと思います。結構複雑なんですけど、あー読んでほしい！(笑)かわいしい読みやすいし楽しいのでぜひ読んでみてください。

みたらし 私のおすすめは『名のないシジャ』(山田悠介著／角川書店)です。これはずっと好きな本です。

ー山田悠介さんの本は色々読んでるんですか？

みたらし はい。基本的に好きなので、新しいのが出たら読んだりしています。『僕はロボットごしの君に恋をする』(山田悠介著／河出書房新社)を読みたいと思っています。山田さんの作品は、物語に引き込む力が強くて、読み応えはやっぱりあります。小6ぐらいの時に山田さんの作品が流行って、周りみんな持ってました。子どもでも読める内容だけど、大人になってから読むべきものかなとは思いますが。子どもの時に読むのと、今読むのでは考え方が変わるのでいい本かなと思います。山田さんの作品は、結末がハッピーエンドじゃなくてバッドエンド化しがちなんですが、この『名のないシジャ』は感動系の話です。使者は時間を持っていて、その時間を人間に与えることもできるんですよ。人間ではない使者は子どもの姿をしていて、時間を使いきるまで使者として永遠に存在するんです。それぞれの使者が色々な人間と出会うと、自分の持っている時間を人間に与えるかどうかは自分次第で、与えたり、与えなかったり、人間がいないって言ったり。最後に残った使者は人間が嫌いだったんですけど、他の使者たちの行動によって、最後は…。いい話なんですけど、胸が痛いですね。ああ幸せになってほしいのになって。泣きたいなっていう時に読むのがいい本だと思います。ハッピーエンドとは違うけど、山田さんの作品にしてはめずらしく、希望がある終わり方をしています。

ーお二人のおすすめの本は、どちらも時間をキーワードにした作品でしたね。

ゆか子・みたらし そういえば、本当ですね！

ーお二人は短大からの友達ですか？

ゆか子 そうです。一番最初に話したのが、みたらしだったと思います。

みたらし 入学式の後の写真撮影の時に、ここで話しかけなきゃと思って、近くにいたゆか子に話しかけて、ウェルカムパーティでも一緒だったので、そこから話すようになりました。

ーすてきなご縁がつながって、今日お二人のお話を聞けて嬉しいです。



● 3つの質問 ●

ー続いて3つの質問です。①今はまっているもの、教えてください。

ゆか子 ソーシャルゲームです。具体的には「刀剣乱舞」や「FGO」です。

ー好きなキャラクターはいますか？

ゆか子 います。私は単推しです。「刀剣乱舞」だと、大包平ちゃんと五虎退ちゃんがそれぞれ単推しで。「FGO」だと、アルジュナなんです。

ーみたらしさんも知ってますか？

みたらし 私も「刀剣乱舞」も「FGO」もするので大体は把握してますね。五虎退は虎の子やんな？短刀だよ。かわいい。



ゆか子 「刀剣乱舞」のキャラクターは剣を擬人化したもので、剣そのものみたいな感じですよ。

みたらし 私は長谷部が好きかな。私たちが主で剣を扱うみたいなイメージなんです。長谷部は主が大好きなんです。見た目というよりも中身が好きです。

ゆか子 長谷部くんは国宝だよ。長谷部は織田信長の剣だったんですけど、黒田に下げ

渡されたという経歴が性格に表れています。

ー刀の歴史もわかるんですね。

ゆか子 そうですね。「FGO」の方も実在の人物や神話が元があって、アルジュナくんはインドの叙事詩「マハーバーラタ」の登場人物です。歴史がたどれるようになってるんです。

ー奥が深いですね！次はみたらしさん、お願いします。

みたらし 私は動画を見ることです。YouTubeを開いて、ひたすらおすすめにあがってきた動画から関連した動画を延々と見ています。

ーどんな動画をよく見ますか？

みたらし 実際にあった話をマンガにした感じの動画も見んですけど、基本的にK-POPが好きなので、そういうのをずーっと見て、延々ループですね。

ー好きなグループはいますか？

みたらし 色々好きですけど、日本人メンバーのいるIZ*ONEとか、オールジャンル見ますね。はまると抜け出せない沼ですよ。会える機会が増えるので、日本語でも曲を出してくれるのは幸せですよ。

ー前回のさくらさんからの質問です。②好きな場所はどこですか？

ゆか子 薄暗くて静かな所です。すごい根暗みたいな。(笑)おうちだったら電気つけないとか、カフェやレストランでも明るいより薄暗めの所が好きだったり、図書館でも開放的な感じより雨の日の人があまりいない時が好きみたいな感じです。落ち着くんですよ。

みたらし 私は自分の部屋ですね。寝たかったら寝れるし、物が手の届く場所にあるし、楽できてじゃまされないの。私も静かなほうがいいですね。ただ一人でくつろぐっていう時間が好きですね。

ー最後は、はとむぎさんからの質問です。③好きな動物は何ですか？

ゆか子 猫と爬虫類です。

ー爬虫類、触れますか？

ゆか子 触れます。かわいいですよ。

みたらし 私はイルカと犬が好きです。ロワって名前の犬を飼っています。鼻がとんがってるワンちゃん、よく鼻で穴掘りをして、土で鼻が茶色くなるんですよ。その時もなんで鼻でするんだろうと思いつつ、しっぽを振る時に、体が一緒にくねるんですよ。かわいい！

ー今日はたくさんのお話をありがとうございました。

ゆか子・みたらし ありがとうございました。

MIETAN
今回の本つなぎ

●ゆか子さん●
『ファンタズマゴリア』(岡崎祥久著/講談社)

●みたらしさん●
『名のないシジャ』(山田悠介著/角川書店)

7



次の2人へ
本つなぎ。
次回もお楽しみに♪

Book design

の世界

vol. 9

西村真紀子さん 草苺睦子さん
(アルビレオ)

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする仕事を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

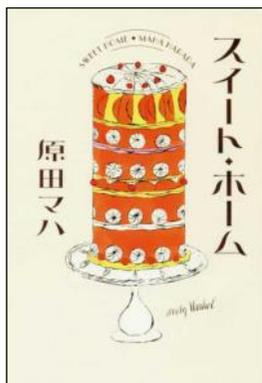
第9回目は 西村真紀子さんと 草苺睦子さん (アルビレオ)です。

今回は、西村真紀子さんと草苺睦子さんによるデザインユニット「アルビレオ」のブックデザインを紹介します。



illustration : Annika Wester

まず、『フランス人は10着しか服を持たない』(ジェニファー・L・スコット著/神崎朗子訳/大和書房/2014年/590.4||J 36)をご紹介します。ベストセラーのこちらの本も、アルビレオによるブックデザインです。Annika Westerさんのイラストがおしゃれで、部屋に飾りたくなるような洗練された印象です。



artwork : Andy Warhol
Multilayered Cake on Stand

『スイート・ホーム』(原田マハ著/ポプラ社/2018年/913.6||H 32)は、洋菓子店「スイート・ホーム」を舞台にした物語です。パッと目を引くケーキは、アメリカの芸術家 Andy Warholさんの作品です。お店のロゴの色であるみかん色を思わせる色が、見返しやしおり紐に使われています。ケーキの箱を開ける時のような特別感を味わうことができるデザインです。



カバー写真 : 桑野桂

次の『ランチのアッコちゃん』(柚木麻子著/双葉社/2013年/913.6||Y 99)は、派遣社員の三智子が、上司の“アッコ女史”とランチ交換することになった一週間を描いた表題作などをおさめた短編集です。おいしそうなお弁当の写真に思わず惹かれます。カバーの下からのぞくギンガムチェックがランチマットのようで、おいそうな物語への期待が高まります。

『芸人と俳人』(又吉直樹, 堀本裕樹著/集英社/2015年/911.3||Ma 71)は、芸人の又吉さんと俳人の堀本さんのやりとりを楽しみながら、俳句の面白さと出会うことが出来る一冊です。杉並区にある角川庭園で撮影された趣のある写真の中のお二人が、俳句の世界へ誘います。



写真撮影 : 前康輔



カバー写真 : 岩崎美里

今回、最後にご紹介する『わたしをみつけて』(中脇初枝著/ポプラ社/2013年/913.6||N 43)は、孤独を抱えた准看護師・弥生の成長を描いた物語です。光あふれる部屋のカバー写真に、物語の情景が重なります。主人公の幸せを願うような、あたたかな印象のデザインに包まれています。

西村真紀子さんと草苺睦子さんの「アルビレオ」のブックデザインは、本をめくるのが楽しみになるようなデザインばかりでした。

これからも、デザインと本の間を楽しんでいきたいと思っています。



ちよこちよこ日記 #19 「タピオカ」

タピオカ。いろいろなところでタピオカを目にします。大人気で
すね！

私は、まだ数えるほどしかタピオカを食べたことがありません。
ある日、帰る前にお茶しよう、そして甘いものが食べたい、と思っ
て、タピオカミルクティーを注文してみました。まだ暑い日で、私
はのどが渴いていたので、ミルクティー部分を先に、割と多めに飲
んでしまいました。おいしい。カップの中に残ったのは少しのミル
クティーと、底にはたくさんの黒いつぶつぶ、タピオカ。ストロー
のなかを上ってきたタピオカをそのまま飲み込んでしまいました。
苦しい。だけどミルクティーはほとんどない。一人だったので、誰
かにこの苦しさを伝えることもできず…。タピオカだけを食べるの
は、意外と難しい。ミルクティーとタピオカをいいバランスで飲み
進めることが大切だと知りました。あー苦しかった。また次は気を
付けて、もっとおいしく味わいたいです。

図書館にもタピオカがやってきましたよ。『台湾スイーツレシ
ブック』（若山曜子著／立東舎／596.65||W 28）。この本の中で、
タピオカパンケーキが紹介されています。ふわふわともちもちの
食感が、とてもおいしそうです。



こんな本読んでみて No.79

2019年10月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www.library.tsu-cc.ac.jp/>